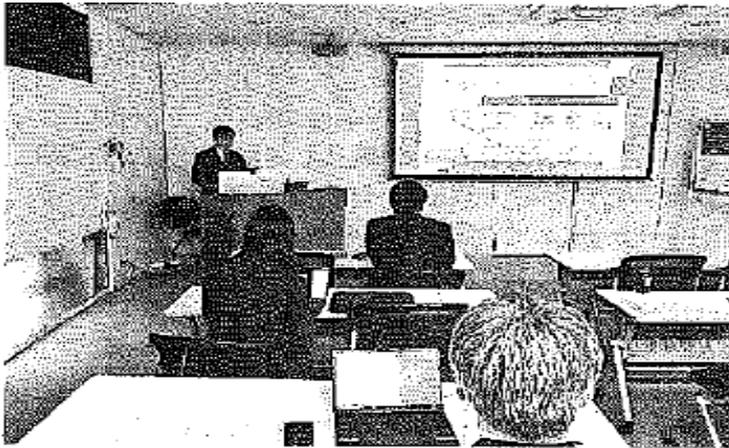


# 社会資本整備の重要性知る

## 戦略的で持続可能な成長へ 国交省、新大

国土交通省と新潟大学 計画的な社会資本整備」  
はこのほど、「持続可能 な成長に向けた戦略的・



先進的な取組み事例  
が紹介された講座

な成長に向けた戦略的・ヤンパスときめいとで臨  
時講座を開  
き、対面とW  
e b形式で14  
人が参加し、  
日常生活の安  
全・安心を確  
保するととも  
に、社会経済  
活動の基盤を  
形づくる重要  
性な役割を果  
たす社会資本  
整備について  
理解を深め  
た。

講座は地域社会インフ  
ラ整備担い手育成リスキ  
プログラムの一環。第  
5次社会資本整備重点計  
画では、インフラが持つ  
ストック効果を最大化す  
る観点から、インフラを  
国民が持つ資産とし、整  
備および維持管理、利活  
用の各段階で工夫を凝ら  
した新たな取組みによ  
り、インフラの潜在力を  
引き出し、新たな価値を

創造するインフラ経営の  
概念を打ち出した。  
この日は、国交省総合  
政策局社会資本整備政策  
課の鈴木健弘企画専門官  
が登壇。社会資本整備を  
取り巻く経済社会状況  
や、重点計画、インフラ  
経営、持続可能なインフ  
ラメンテナンスなどにつ  
いて解説した。参加者が  
らは「大規模災害の復旧  
・復興に時間を要すると、  
地域の人口流出が加速し  
地域社会が急激に衰退し  
かねない」と危ぶる声  
や、「地域のインフラにつ  
いて費用対効果だけで  
なく、ストック効果の点  
からうまく活用してもら  
いたい」といった意見が  
出た。

同大社会連携推進機構  
の須藤達美特任教授は、  
担い手育成リスキプロ  
グラムに関して「土木工  
学分野に関するポトムア  
プを目的とした基礎技術  
力向上のほか、一部にC  
PDS(継続学習制度)、  
CPD(継続教育制度)  
の取得も可能な最新技術  
・応用技術に関する講座  
や、実習、資格取得支援  
現地見学会等の各種講座  
を通じた即戦力を育成す  
ることが目的」と呼び掛  
けた。